

【カラー写真】

愛媛県におけるウラルカンゾウの生育適応性について



図3 定植2年目に発生したウラルカンゾウの春シュート（2014年5月）【57ページ】



図4 定植2年目のウラルカンゾウ地下部の生育状況（2014年10月撮影：縦方向は根部，横方向はストロン）【59ページ】

愛媛県内アスパラガス主産地における土壌病原菌の菌密度と欠株率の関係ならびに欠株率による肥培管理指標の提案



図4 改植が必要なレベルのは場（手前右）とそのは場における改植後の様子（左奥）【65ページ】

注) 茎枯病が発生し欠株が多発したハウスにおいて、ハウス内で最も欠株の多かった部分（左奥 230 m²）を2017年8月に低濃度エタノール土壌還元消毒を実施し、同年10月5日に改植した（撮影は2018年8月）